



③1 中高 国語科問題の解答について (注意)

1. 問題【1】～【2】二～九【3】二～九【4】五～七【5】二～五の解答は別紙のマークシートに
問題【2】十～十二【3】一、【4】一～四【5】六の解答は解答用紙に } 記入すること。

2. 問題【1】～【2】二～九【3】二～九【4】五～七【5】二～五の解答(マークシート使用)については、次の点に注意すること。

- ① マークシートは、電算処理するので、折り曲げたり、汚したりしないこと。また、マーク欄はもちろん、余白にも不要なことを書かないこと。
- ② 記入は、HBまたはBの鉛筆を使って、ていねいに正しく行うこと。(マークシート右上の記入方法を参照)
消去は、プラスチック消しゴムで念入りに行うこと。
- ③ 受験番号の記入 受験番号欄に5けたの数で記入したのち、それをマークすること。
- ④ 名前の記入 名前を記入すること。
- ⑤ 教科名の記入 教科名に「国語」と記入すること。
- ⑥ 解答の記入 ア. 【1】～【2】二～九【3】二～九

【4】五～七、【5】二～五の小問の解答番号は1から56までの通し番号になっており、例えば、10番を 10 のように表示してある。

- イ. マークシートのマーク欄は、すべて1から0まで10通りあるが、各小問の選択肢は必ずしも10通りあるとは限らないので注意すること。
- ウ. どの小問も、選択肢には①、②、③……の番号がついている。
- エ. 各小問に対して一つずつマークすること。

- 3. 解答用紙は、キリトリ線で切り離して使用すること。
- 4. 解答用紙に受験番号を記入すること。

(マークシート記入例)

フリガナ	コウバタロウ
名前	神戸太郎
教科名	国語

小問番号	解答記入欄 1 - 25	小問番号	解答記入欄 26 - 50	小問番号	解答記入欄 51
1	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	26	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	51	0 0 0 0
2	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	27	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	52	0 0 0 0
3	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	28	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	53	0 0 0 0
4	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	29	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	54	0 0 0 0
5	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	30	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	55	0 0 0 0
6	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	31	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	56	0 0 0 0
7	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	32	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	57	0 0 0 0
8	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	33	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	58	0 0 0 0
9	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	34	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	59	0 0 0 0
10	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	35	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	60	0 0 0 0
11	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	36	0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	61	0 0 0 0

受験番号	
/	2340

数字で記入……

【1】平成30年4月から小学校、特別支援学校小学部、平成31年4月から中学校、特別支援学校中学部で全面実施される「特別の教科 道徳」（道徳科）について、下の問いに答えよ。

(1) 道徳科の授業で、「道徳的価値の理解」について指導する際に、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 授業者の意図や工夫による学習を行う。
- ② 特定の価値観を児童生徒に押し付ける指導を行う。
- ③ 道徳的価値は大切であってもなかなか実現することができない人間の弱さについても指導する。
- ④ 道徳的価値を基に、自己を見つめることができるような学習を行う。
- ⑤ 児童生徒自らが様々な視点から物事を理解し、主体的に取り組む学習を行う。

1

(2) 「道徳科の評価」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 児童生徒の学習状況や道徳性に係る成長の様子を継続的に把握する。
- ② 教師にとっては、指導の目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料となる。
- ③ 児童生徒の指導に生かすために、数値等による評価を行う。
- ④ 児童生徒がいかにか成長したかを積極的に受け止めて認め、励ます個人内評価を行う。
- ⑤ 評価に当たっては、道徳科の学習活動に着目し、年間や学期といった一定の時間的なまとまりの中で把握する。

2

(3) 道徳科の評価としての「見取り」について、適切でないものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 教師や他の児童生徒の発言に聞き入ったり、考えを深めようとしていたりしている姿に着目する。
- ② 児童生徒の変容は、学級担任のみで見取る。
- ③ 発言や感想文、質問紙の記述等から見取る。
- ④ 道徳的価値を自分のこととして捉えているか、丁寧に見取る。
- ⑤ 一人一人の学習の困難さに応じた評価につながるよう見取る。

3

【2】 次の文章を読んで後の問いに答えよ。(設問の都合で原文の一部を省いた。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『和の思想 異質のものを共存させる力』長谷川權 著 中公新書より)

一 傍線部ア「兼好法師の『徒然草』」は三大随筆の一つであるが、この三大随筆を成立順に並べた場合に、二番目の作品の筆者が著した説話集はどれか。①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 『十訓抄』 ② 『無名草子』 ③ 『沙石集』 ④ 『茶心集』 ⑤ 『無名抄』

4

二 〈A〉・〈B〉・〈C〉に入る熟語の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Aが垂直・Bが水平・Cが地平 ② Aが水平・Bが垂直・Cが地平
③ Aが地平・Bが垂直・Cが水平 ④ Aが平行・Bが垂直・Cが海岸
⑤ Aが水平・Bが垂直・Cが海岸

5

三 次に示すのは、本文を読んだ三人の生徒の会話の場面である。本文の内容を踏まえて、空欄に入る最も適切なものを、後の①～⑤から選び、番号で答えよ。

生徒A 去年、京都国立博物館で開かれた国宝展に行ったけれど、そこで見た藤原行成の書は、確かに間がたっぷりあって揺らめいた書だったな。

生徒B それが中国の書から日本の書へと印象が変化したという、その「日本の書」なんだね。

生徒C 私も国宝展で日本の書を見たよ。「息苦しさを感ぜずにすむ」という筆者の指摘は、なるほどと納得するな。

生徒A 仮名の誕生にも、「夏をむねとすべし」という約束がかかっていたはずだ、と書いてあるけれど、この指摘は興味深いな。

生徒B 筆者は、と、考えているんだね。

生徒C もしも仮名が誕生せず、万葉仮名が現代でもそのまま使われていたとしたら、作文を書くのも、それこそ堪え難いことだろうね。

生徒A B 同感だね。

- ① 暑苦しさから、揺るぎない漢字を揺らめかそうとした結果、仮名が誕生した
② きつちりした漢字に象徴される中国文化に対抗するため、意識的に仮名を考案した
③ 中国語と違って日本語は細やかな表現をするから、必要に迫られて表音文字の仮名を作り出した
④ 漢字の持つデザインとしての見た目のおもしろさを追求した結果、涼やかな仮名が生まれた
⑤ 難しい漢字では暑苦しいから、漢字を元として「間」のある簡素な仮名を生み出した

6

四 《D》・《E》・《F》に入る熟語の組合せとして適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① Dが現実・Eが空白・Fが表現 ② Dが克明・Eが黄金・Fが整然
 ③ Dが写実・Eが直線・Fが曲線 ④ Dが克明・Eが余白・Fが写実
 ⑤ Dが写実・Eが余白・Fが現実

7

五 本文の構成・論述の型として適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 三段構成 ② 総括式 ③ 尾括式 ④ 頭括式 ⑤ 四段構成

8

六 この文章に題を付けた場合に、最も適切なものを①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 夏をむねとすべし ② 「用なき所」の効用 ③ 仮名の誕生
 ④ 日中の文化比較 ⑤ 日本の夏の文化

9

七 傍線部ク、ケ、コについて。【1】と【2】、【3】と【4】、【5】と【6】に入る漢字の組合せとして、適切なものをそれぞれ①～⑤から選び、番号で答えよ。

傍線部ク「洛【1】洛【2】」

- ① 1が内・2が外 ② 1が上・2が下 ③ 1が外・2が中
 ④ 1が下・2が上 ⑤ 1が中・2が外

傍線部ケ「六【3】一【4】」

- ① 3が局・4が相 ② 3が曲・4が相 ③ 3が曲・4が双
 ④ 3が相・4が局 ⑤ 3が双・4が曲

傍線部コ「【5】に入り【6】に入り」

- ① 5が詳・6が細 ② 5が微・6が詳 ③ 5が微・6が細
 ④ 5が微・6が細 ⑤ 5が微・6が詳

ク	10	ケ	11	コ	12
---	----	---	----	---	----

八 (あ)～(け)に入る適切な言葉を①～⑩から選び、番号で答えよ。ただし、同じ番号は複数回用いることはできない。

- ① むしろ ② つまり ③ しかし ④ なぜなら ⑤ まず
 ⑥ やがて ⑦ まるで ⑧ かえって ⑨ おそらく ⑩ たしかに

あ	13	い	14	う	15
え	16	お	17	か	18
き	19	く	20	け	21

九 へ に入る漢字について。次の①～⑩のカナを漢字に直した場合に、 へ に入るべき漢字と同じ字を含むものを①～⑩から選び、番号で答えよ。

- ① イツピツケイショウと書く。
- ② 似たり奇つたり、タイドウショウイだ。
- ③ 自家から送られてきたカシヨ。
- ④ 彼はキツスイの江戸っ子だ。
- ⑤ ヒバリの鳴き声が聞こえる。
- ⑥ 中央集権的なズイの帝国。
- ⑦ 常にタイゼンと構える。
- ⑧ コウトウムケイな話だ。
- ⑨ どうすべきかゴリムチユウだ。
- ⑩ インシツな性格の人物だ。

a	22	b	23	c	24
d	25	e	26	f	27

十 傍線部イ「万」、エ「育まれた」、カ「陽炎」、キ「網代」の漢字の読み方をひらがなで解答用紙に書け。イについては、現代仮名遣いで答えること。

十一 傍線部ウ「注目したいのは『用なき所』を設けよといっている最後の一文である」とあるが、なぜ筆者は「注目したい」と言うのか。その理由を説明した文が完成するように、次の文の空欄に入る適切な部分を、本文から三十八字で抜き出し、始めと終わりの各五字を解答用紙に書け。但し、句読点、記号は全て一字に数える。

「用なき所」とは、「間」のことであり、それは日本の生活と文化全般に関わるもので、と、筆者は考えているから。

十二 傍線部オ「中国の書の印象」とあるが、それを説明した次の文が完成するように空欄①には二字、②には一〇字の適切な語句を本文から抜き出し、解答用紙に書け。(完答)

中国の書は、としており、印象を与える。

《原典と異なる字》

- ・屏風の「屏」→原典は旧字体
- ・祇園祭の「祇」→原典は「祇」

【3】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都合で一部表記を改めた。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『宇治拾遺物語』小学館『日本古典文学全集』より)

- (注) 1 綾蘭笠……………蘭という草で編んだ笠。
2 ふし黒なる胡録……………矢の幹の節の所を黒く漆で塗った矢を収めた背に負う道具。
3 襖……………狩衣。
4 行膝……………馬に乗る時、腰から脚にかけておおいとするもの。

一 文中の会話文で「」がついていないところが一カ所ある。始めと終わりの五字を抜き出して解答用紙に書け。(句読点は含まない)

二 二重傍線部 a、b の文法的説明として正しい組合せを①～④から選び、番号で答えよ。

- | | | |
|---|----------|----------------------------|
| ① | a 推量の助動詞 | b 強意の副助詞 |
| ② | a 可能の助動詞 | b 強意の副助詞 |
| ③ | a 推量の助動詞 | b 上二段活用 ^の 動詞の一部 |
| ④ | a 可能の助動詞 | b 上二段活用 ^の 動詞の一部 |

三 傍線部ア、エ、カの解釈として適切なものを、それぞれ①～④から選び、番号で答えよ。

- ア ① どんな服装で来られてはいませんか
 ② どんな様子でおいでになるのでしょうか
 ③ どんな姿をしてお越しになればよろしいですか
 ④ どんな心でお待ちいたしましょうか
- エ ① 合点もいかぬので
 ② 感動したので
 ③ やる気が出たので
 ④ 緊張したので
- カ ① 噂になる
 ② 評判になる
 ③ 悪口を言う
 ④ 騒ぎたてる

ア	29	エ	30	カ	31
---	----	---	----	---	----

四 傍線部イの敬語の説明として正しいものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 観音に対する尊敬の動詞
 ② 観音に対する謙讓の補助動詞
 ③ 僧に対する尊敬の補助動詞
 ④ 僧に対する謙讓の動詞

32

五 傍線部ウは現在の時刻でいうと何時頃にあたるか。適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 午前十時頃 ② 午後零時頃
 ③ 午後二時頃 ④ 午後四時頃

33

六 傍線部オの主語を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 僧 ② 万の人
 ③ 馬 ④ 男

34

七 次の一文は、本文 I ～ IV のどこに入るか、適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

万の人にはかに立ちて額をつく。

- ① I ② II ③ III ④ IV

35

八 本文の内容と合致するものとして適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 出家したいと常々思っていた武士がその夢を叶えられた様子を描いている。
- ② 自分の意思に反して出家せざるを得なくなった武士の悲しさを描いている。
- ③ 人々の素直な観音信仰に促されて仏道に入った武士の様子を描いている。
- ④ 人々をうまくだまして観音になりすました武士のずる賢さを描いている。

36

九 この作品と同じ時代に成立した作品を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 『更級日記』 ② 『風姿花伝』
- ③ 『大鏡』 ④ 『金槐和歌集』

37

【4】 次の文章を読んで、後の問いに答えよ。(設問の都名で一部表記を改めた。)

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(『戦国策』明治書院「新釈漢文大系」より)

- (注) 1 祭地……神を祭る供物栽培に供する土地。祭祀料にあてる土地。
2 鄭朝……鄭は姓。朝は名。周の臣。一説には鄭人ともいう。
3 太卜……卜筮^{ぼんぎ}を掌る役人の長官。
4 譴……その罪を責める。

一 傍線部①、②の「之」が指す内容を、本文中から白文の形で抜き出せ。但し①は三字、②は二字で抜き出して、解答用紙に書け。

二 二重傍線部 a、c、e の漢字の読みを、現代仮名遣いで解答用紙に書け。

三 二重傍線部 b を書き下し文にして、解答用紙に書け。

四 二重傍線部 d を「王病むに及んで、之をトせしむ。」と読めるよう、解答用紙の文に返り点を施せ。

五

 に入る適切な語を①～⑤から選び、番号で答えよ。

- ① 於 ② 兮 ③ 也 ④ 而 ⑤ 焉

38

六 傍線部ア「君」イ「臣」が示す人物を①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 趙王 ② 周君 ③ 鄭朝 ④ 太卜

7

39

1

40

七 本文の内容と合致するものとして最も適切なものを①～④から選び、番号で答えよ。

- ① 周が趙に対し、祭地の返還を求めるにあたり、鄭朝が趙君と直接金銭のやりとりをして、奪い返した。
- ② 周が趙に対し、祭地の返還を求めるにあたり、鄭朝が太卜に賄賂を贈り、神の祟りに託して、奪い返した。
- ③ 周が趙に対し、祭地の返還を求めるにあたり、鄭朝が人質である太卜を趙君に引き渡すことを条件にして、奪い返した。
- ④ 周が趙に対し、祭地の返還を求めるにあたり、鄭朝が太卜に毒薬を渡し、趙君を病にさせて、奪い返した。

41

《漢字が原本と違つもの》

一行目、二行目、三行目「朝」

一行目「鄭」

二行目「請」

三行目「獻」

四行目「及」

六行目「還」

【5】 次の問いに答えよ。

一 次のア～ウの傍線部のひらがなを漢字に直す場合、適切なるものを①～④から選び、番号で答えよ。

ア 提案にいぎを唱える。

- ① 意義 ② 威儀 ③ 異議 ④ 異義

イ 消息をたつ。

- ① 立 ② 裁 ③ 断 ④ 絶

ウ 品質をほしようする。

- ① 保証 ② 保障 ③ 補償 ④ 歩哨

ア	42	イ	43	ウ	44
---	----	---	----	---	----

二 ア～ウの意味を表す言葉を①～④から選び、番号で答えよ。

ア 詭弁 ① 新しい思想 ② こじつけの議論

- ③ 偏った見方 ④ よく練られた考え

イ つつがない ① 無事である ② むだがない

- ③ 継続しない ④ 終わりが無い

ウ 意匠 ① 特性 ② 本質

- ③ 組立 ④ 工夫

ア	45	イ	46	ウ	47
---	----	---	----	---	----

三 次の四字熟語の空欄ア～エにあてはまる適切な漢字を①～⑤から選び、番号で答えよ。

泰然自(ア) 不(イ)不離 一網打(ウ) 換(エ)奪胎

- ① 骨 ② 弱 ③ 着 ④ 若 ⑤ 転

- ⑥ 即 ⑦ 投 ⑧ 尽 ⑨ 金 ⑩ 輒

ア	48	イ	49	ウ	50	エ	51
---	----	---	----	---	----	---	----

四 ア～エの短歌・俳句の作者を①～⑩から選び、番号で答えよ。

ア いちはつの花咲きいでて 我目には 今年ばかりの 春行かんすとす

イ 白鳥は 哀しからずや 空の青 海のをにも 染まずただよふ

ウ 遠山に 日の当りたる 枯野かな

エ 分け入つても分け入つても 青い山

- ① 河東 碧梧桐 ② 高浜 虚子 ③ 与謝野 晶子 ④ 石川 啄木

- ⑤ 正岡 子規 ⑥ 斎藤 茂吉 ⑦ 若山 牧水 ⑧ 種田 山頭火

- ⑨ 尾崎 放哉 ⑩ 中村 草田男

ア	52	イ	53	ウ	54	エ	55
---	----	---	----	---	----	---	----

五 中学校では、学習指導要領（平成二十九年三月告示）が全面実施される。

その移行措置として、中学校国語科では、平成三十一年の第一学年、平成三十二年の第一学年、第二学年で学習する漢字に追加して、二十字の漢字の読みと書きを指導することになっている。どのような種類の漢字のことか。①～⑥から一つ選び、番号で答えよ。

- ① 動物名 ② 歴史上の人物名 ③ 都道府県名 ④ 植物名 ⑤ 職業名

56

六 左の表は、平成二十九年度の全国学力・学習状況調査結果の報告書から、中学校国語B問題（活用問題）の結果の一部である。この表を参考にして、次の問いに答えよ。（設問の都合で、表の問題番号等、一部変更している）

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	学習指導要領の領域等			正答率 (%)		無解答率 (%)	
			話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	神戸市	全国(公立)	神戸市
一	本の紹介カードに書かれている登場人物の様子が具体的に表現されている箇所として適切なものを選択する	登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する		2 イ		84.6	84.1	0.2	0.1
二	地の文にある言葉や表現を文章の中から抜き出す	場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する		1 ウ		86.0	84.1	5.3	5.3
三	比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く	表現の仕方について捉え、自分の考えを書く		1 エ	1(1)イ(外)	41.5	41.4	17.0	14.3
四	スピーチの中で表演を行った意図として適切なものを選択する	目的に応じて資料を効果的に活用して話す	2 ヨ			84.3	85.4	0.3	0.2
五	聞き手が話し手に伝えようとしていることとして適切なものを選択する	話の論理的な構成や展開などに注意して聞く	2 エ			74.2	74.2	0.4	0.3
六	スピーチの内容を聞き手からの意見に基づいて直す	相手の反応を踏まえながら、事実や事柄が相手に分かりやすく伝わるように工夫して話す	1 イ	2 ウ		56.9	57.6	7.2	5.8
七	下書きについての説明として適切なものを選択する	集めた材料を整理して文章を構成する		1 イ		74.6	75.3	0.4	0.3
八	太宰治と他の作家との関係を書き直したものととして適切なものを選択する	目的に応じて必要な情報を読み取る		1 カ		79.1	78.7	0.6	0.5
九	アンケートをとる対象と質問内容、その質問についての回答を基にした内容を載せることと興味をもってもらえらると考えた理由を書く	必要な情報を集めるための見通しをもつ		1 ア		67.8	68.8	8.4	7.4

- (1) 調査結果から、全国と比べて神戸市の中学生は「書くこと」の領域に課題があると分析されている。その根拠として顕著な数値を、表の中から抜き出して説明せよ。
- (2) あなたは、神戸市の国語科の教員として、この課題を克服するため、どのような授業をすることが必要と考えるか。次の①～③の条件に従って書け。
- ① 二段落構成とし、前段には、生徒に付けさせたい力を書き、後段には、学習指導要領（平成二十九年三月告示）で示された授業改善の視点を踏まえ、どのように単元を計画するかを書くこと。
- ② 八十字以上百字以内で書くこと。
- ③ 原稿用紙の正しい書き方に従って書くこと。

